

令和7年度練馬文化センター利用者懇談会 会議要録

1.概要

(1)日時：令和8年1月16日（金）14:00～15:15

(2)場所：練馬文化センター 3階 洋室

(3)参加者

①利用者団体（50音順 敬称省略）

- ・石神井太鼓保存会 せんば太鼓
- ・千の会
- ・練馬混声合唱団
- ・邦楽アンサンブル 来音

②ホール運営関係者

- ・(公財)練馬区文化振興協会（以下「協会」）〔練馬文化センター指定管理者〕4名
- ・再委託先職員〔受付担当者、警備担当者、舞台担当者〕3名
- ・練馬区文化・生涯学習課（以下「練馬区」）3名

(4)配布資料 次第、利用者アンケート結果

2.館長挨拶

平成31年4月から練馬文化センターの館長をしている。当館は練馬区文化振興協会が区から管理を任せられて運営しているが、当協会は他にも、大泉学園ホール、練馬区立美術館や石神井公園ふるさと文化館を管理、運営をしている。今年の3月で5年間の指定管理期間が満了となるが、昨年末の練馬区議会にて、令和8年度から3年間の指定管理期間が決定されたところである。利用者懇談会は、令和元年度の開催後は、新型コロナウイルス感染症の流行により、対面形式を見合わせていたが、昨年度から再開している。練馬文化センターは、昭和58年に開設されてから、平成17年度と、令和5年度に大規模改修工事を2回行った。今回の大規模改修工事では、主な改修箇所として、ホール内の座席面の拡張および天井の耐震化などを行い、未改修の部分と新旧入り混じった状況ではある。再開後、来場者も今年の12月までに約30万人来場いただいている。限られた時間であるが、本日は遠慮なく率直なご意見を仰っていただきたい。またこの機会に利用者同士の親睦も深めていただきたい。

3.参加者自己紹介

(1)練馬文化センター運営関係者

- ・ 協会職員・再委託先職員・練馬区職員

(2)参加団体

【利用者】

昭和 40 年に地域の夏の盆踊りの太鼓から始まったチームである。その後、夏以外は和太鼓のアンサンブル「組太鼓」を主体でやってきた。照姫まつりや都市農業フェスティバルなど区内のイベントや、去年は万博にも参加した。

【利用者】

1985 年から開始したクラシックオーケストラの指揮者のための教室である。指揮者によるジョイントコンサートは珍しく、アマチュアの指揮者がプロのオーケストラ奏者とともにコンサートを開催している。練馬文化センターは 6 回利用した。コロナ禍で途絶えた時期もあったが、去年の 10 月からまたフルオーケストラで開催している。普段の教室では指揮指導者とピアニスト 2 名による指揮法レッスンを行っている。

【利用者】

本団体は 1968 年練馬で発足し、今年で 58 年目となる。指揮者の先生が当初からおひとりで続けている 55～56 名の混声合唱団である。毎年定期演奏会で練馬文化センターの大ホールを利用している。練馬文化センターが改修による休館の際は、場所を探すのが大変であったが、所沢市民文化センターミューズで一度開催した。今年も 12 月 6 日に練馬文化センターの大ホールで開催予定である。練馬文化センターは駅からも近く、ホールのキャパシティもちょうどよいため、今後も利用していきたい。

【利用者】

当団体は和楽器（琴、尺八、三味線など）を用いたアマチュアの団体である。「和楽器でオーケストラを」という目標のもと、毎年練馬文化センターでコンサートを行っている。2003 年に発足し、去年で 20 回目を迎え、改修期間とホール予約が取れなかった 3 回を除く計 17 回練馬文化センターを利用してきた。

4.利用者アンケート結果報告

■資料内容について説明 【協会】

令和 7 年 4 月から 11 月までにいただいた利用者アンケート結果について資料説明。
ホールの稼働率について説明。

【協会】

ご意見・ご質問があれば、伺いたい。

【利用者】

トイレについて、当団体は高齢者が多く、膝が悪い方もいるので和式は使いづらい。洋式が望ましい。

【利用者】

楽屋裏の女子トイレについて、本番利用の時、当団体は女性が 30 数名参加する。その中で 2 部屋のトイレのうち、洋式 1、和式 1 の現状だとどうしても混みあってしまう。和式から洋式にした方が使いやすいと思うので、検討してほしい。

【協会】

せんば太鼓様は演奏時の服装について、洋式・和式トイレの影響はあるか。

【利用者】

あまり関係ない。どちらでも問題ない。

【協会】

当館は多目的ホールであり、様々な団体が使われるため、和式トイレを一部残している。ただ利用者の高齢化や、逆に小学生など若い利用者は和式トイレを使った経験がないため、学校の先生方から洋式トイレにしてほしいと要望をいただくことはある。今後区と協議しながら検討していきたい。

【利用者】

楽屋が迷路のようで分かりにくい。先般の改修工事により、使い勝手が良くなったかと思っただが、楽屋の間仕切りや通路は変わっておらず、また階段やエレベーターなどの連絡が悪いままでがっかりした。以前合唱祭の本番前に足の悪い方がトイレに行き、舞台までなかなか戻って来られないこともあった。施設の構造上の問題で難しいことは理解できるが、今後改修があればありがたい。

【協会】

今回の大規模改修工事では、座席改修、舞台照明の LED 化、大小ホールの天井部分、空調関係等の改修が主なものであった。水回りや楽屋などの躯体に関する箇所は、今回工事していない。

【利用者】

年々コンサート会場が少なくなる中、コロナ開けで活動が活発となり、施設を予約するのが難しくなっている。今年の10月、11月では土日祝日の予約がとれず、12月にようやく予約できた。練馬区の団体を優先的に予約することはできないか。

【協会】

平成29年から現在まで区内団体の優先抽選を行っている。区内団体の抽選予約が終わった後、一般の区外の団体の抽選を行っている。それでも土日に関しては特に倍率が高く、なかなか予約がとりづらいというお声はいただいている。

【利用者】

本番当日のカゲアナの際、カゲアナ用の舞台裏のライトが点かなかった。そのため天井LEDライトの明かりで原稿を読むことになった。接触不良が原因とのことで、休憩時には直していただいたが、今後はマイクだけでなく、その他備品のチェックもお願いしたい。

【協会】

ご迷惑をおかけし、申し訳なかった。承知した。

【利用者】

ティンパニを叩くマレット台は貸出備品に入っていないが、本番用として備品にあると望ましい。

【協会】

各利用団体から様々な要望をいただいている。限られた予算の中ではあるが、こちらについても区と協議しながら検討していきたい。

【協会】

練馬文化センター職員が人命救助の功績で練馬消防署から感謝状が贈呈されたので紹介させていただく。11月に公演中の出演者が舞台上で倒れ、AEDを使用して心肺蘇生を行う案件が発生。受付・警備・協会職員が連携して対応に当たり、救急隊に引継ぎ、一命をとりとめた。会館としても当然対応するが、利用団体の方も体調管理など留意していただきたい。

【利用者】

楽屋などにAEDの場所の案内があるとよい。

【協会】

現在 AED は 1 階ロビーの受付前のみだが、舞台側にも 1 台設置を検討している。周知・案内については、承知した。

【利用者】

お客様への AED の使用は無かったか。

【協会】

10 月の太鼓フェスティバル（練馬区太鼓連盟主催）に来られたお客様に対し、AED による心電図解析は行ったが、電気ショックは行わなかった。

5.意見交換会

【協会】

懇談会開催にあたり事前にテーマを伺ったところ、2 団体からテーマをいただいたので、順番にご紹介したい。

■テーマ：ホール of 床について

【利用者】

当団体のジュニアチーム（小学生）は裸足で行うが、公演当日にホール側より怪我をするから裸足はやめてほしいと指示があった。他の団体など、裸足でやる機会は少ないのか。

【舞台職員】

ダンスの団体などは裸足で行う方は多い。そういった場合は、床面にリノリウムマットを敷いていただくようお願いをしている。

【協会】

舞台床面のささくれにより、怪我の恐れがあるので、そのように案内している。事前の舞台打ち合わせの際に、舞台職員にご相談いただきたい。

■テーマ：大音量の規定と抽選会について

【利用者】

当団体はドラムセットのような大太鼓、小太鼓を使用するが、抽選会の際、大音量の扱いとなるため、片方のホールの利用者から了承が得られず、またすでに帰られてしまって、大音量了承の確認ができず、予約ができないことがあった。こちらの公演の際、もう片方のホールでどのくらい音が響いているかわからないが、太鼓利用＝大音量となるのか。また、先に予約した団体は、大小両ホールの予約が埋まるまで、残ってもらえないか。

【協会・受付職員】

どの程度の音量が大音量にあたるか明確にお答えできないが、音量よりもむしろ振動が伝わることにより、相手方のホール利用者からクレームをいただくことがある。太鼓を利用する場合は、振動が相手方のホールに伝わりやすく、相手方の同意を得ないとトラブルとなるため、お断りせざるを得ない。抽選会の方法については、申請する順番を決める抽選後、先に予約希望の日程を確認することで、待ち時間の緩和を図っている。そのため各自舞台上での予約申請が終わったら、お帰りいただく運用としているので、他の団体が終わるまで残っていただくよう制限することは難しい。事前に大音量の了承について、利用者に聞いておくなど方法については検討していきたい。

■テーマ：対面式利用者懇談会で参加しやすい曜日や時間帯

【協会】

多くの団体に出席してもらうためにも、開催日時として、平日・土日の日中、または夜間など、ご意見を伺いたい。

【利用者】

夜間の方が参加しやすい。18時～19時頃で問題ない。

【利用者】

夜間か土日の方が参加しやすい。ただ18時頃だと間に合わない。

【利用者】

当団体は職種も多種多様な方がおり、どちらともいえない。

【利用者】

当団体は8割以上定年、無職の方も多し。特に問題ない。

【協会】

承知した。なるべく参加者を増やし、多くの方のご意見を聞きたいので、来年以降の参考とさせていただく。

【利用者】

舞台の際、男性の団員を集めて山台を組むが、舞台職員の方にも手伝ってもらえないか。

【舞台職員】

原則、ホール管理・備品貸出がメインのため、舞台設営については、利用者にお申し

ている。

【利用者】

ホールの希望が一番少ない月はあるか。

【協会・受付職員】

2月が比較的すいている。逆に10月、12月、3月はホール利用が多い月となる。

【協会】

開催時間などの話もあったが、一人でも多くの方に参加いただき、様々な声を聴きたい。当協会では他に、大泉学園ホールも運営・管理しているが、大泉学園ホールは更に抽選の倍率が高い状況となっている。練馬文化センターについて、迷ってしまうという意見もあったが、改修工事後の再開にあたり、館内図の掲示などできるだけ分かりやすくなるよう考えている。今後も細かい点など気づいたことがあれば、遠慮なく受付でも事務所でも構わないので、ご意見を頂戴したい。

【協会】

本日は貴重なご意見をありがとうございました。いただいた意見をふまえ、今後の施設運営に役立たせていただきます。

以上で令和7年度練馬文化センター利用者懇談会を閉会します。